



戦後80年の8月を生きる__3

80年目の終戦、敗戦の日を迎えました…黙祷。
1945年3月東京大空襲、8月ヒロシマ・ナガサキ

の原爆。ここ愛知県も4月18日に、名古屋大空襲を受けました。なんとその爆撃をしたのが、前回・前々回とコラム欄で紹介した、ドーリットル隊のジェイコブ・ディシーザー軍曹だったのです。真珠湾攻撃に怒りを覚え、日本攻撃に加わった彼は、米空母ホーネットを出立、名古屋駅周辺や軍事工場を爆撃、燃料切れで中国に着陸し、日本軍の捕虜になりました。「悲しみを越えて」という著書に、その全容が記されています。

悲惨な捕虜・独房生活の中で、ジェイコブは聖書を通して救いにあずかり、人生が180度変えられます。そして彼は、自分を拘束している者(日本人)に対する憎しみを「愛で置き換えなければならない」と思うようになりました。「敵を愛する」というイエス様の生き方に従いたかった…。そしてある時から、自分を痛めつける看守に「オハヨウゴザイマス」と挨拶するようになりした。憎まずに愛することを実践すると、最初は当惑していた看守が微笑むようになり、話しはじめ、荒っぽくなり、ついに蒸かしたサツマイモを彼に差し入れてくれた…。彼はその経験をこう書いています。

敵を友人に変えることはなんと簡単なことだろう。自分で試したので間違いない。神の方法は、我々が試しさえすればうまくいく。イエスは実現不可能なことを言う理想主義者ではなかった。イエスが「互いに愛し合いなさい」と言った時、彼は最善の方法を語ったのであって、それはうまくいく。

私のいのちに新しい力が宿った。私は自制心と意志の力が弱かった。しかし今は、自分の敵さえ愛することができる力を得た。それはすべて天から来た。それは超自然的であることを知った。…人の心に住まわれるイエスの霊(聖霊)により、人は仲間を愛することができる。世界はイエスを必要としている。イエス・キリスト抜きでは、憎しみや悲惨な戦争が起こる。…(P.89-90)

やがて宣教師として来日し、名古屋にも教会(フリーメソジスト)を建てました。憎んでいた国を愛し、人生を捧げて、爆弾を落とした場所に教会を建てて、キリストの愛を伝えたのです。その憎しみが愛に置き変わる「瞬間」は、ひとりの看守を愛する、小さな「オハヨウゴザイマス」から始まったことも忘れてはいけない実話です。

本日のプログラム (11:00-12:10)

ご挨拶
黙祷/お祈り

賛美(ゴスペルタイム)

主の祈り
聖書朗読 マルコによる福音書2章1～12節 (新約聖書・口語訳 P.53)

特別音楽 超 Special Guest !

聖書のお話 常識の壁を突破する 倉知契 牧師
Breaking through the wall of common sense

賛美と献金 わたしは奇蹟を信じる (作詞作曲・小坂忠師)
頌栄 ハレルヤ・ハレルヤ
祝祷

報告/茶菓

若きアーティストとお届けする
きせきのおきる賛美集会

8月31日(日)午後1時30分～3時

瀬戸カルバリーチャペル(会場:主催)
489-0909 愛知県瀬戸市みずの郷 5-64 0561-48-8899

お話し さい か
ゲスト 大島 愛華さん(ヴァイオリン)

自由に華麗に大胆にその音色は天の響きです！
ワッシュ・リード: 倉知契 牧師(Piano)



◎ 心と身体がいやしのために祈ります
◎ どなたでも歓迎します！無料



TODAYS Ministry Team

ピアノ・リード 米田香さん
近藤ローレンさん
司会・祈禱 深谷浩昭さん
聖書朗読 持田樹理さん
献金係 宮之原賢晶さん
深谷泰子さん
受付 深谷明美さん
持田樹理さん
メディア 大神真伸さん
小木秀夫さん

【チャペル・ニュース】

- ◆ 皆様を心から歓迎します。礼拝後も良きお交わりを。茶菓もお土産も感謝！
- ◆ 8/22(金) 女子はお昼前から、男子は夕方から、ジョイキッズ&ユースの夏キャンです BBQもあります～みんなで楽しみましょう。幼稚園～高校生！参加・詳細はめぐみ夫人。
- ◆ 今週の木曜祈禱会(21日)は10時半～。YouTubeもご覧ください！

Message Note

中風＝_____人(paralytic)

常識を突破する

1. 屋根をはぎ穴をあけて、寝かせたまま下ろした4人の_____！

信仰とは…

1. _____をかけること
2. _____に屈しない/_____を聴くこと

I can do all things in Christ Jesus. イエス・キリストにあって何でも出来る！

3. _____、_____、支え合うこと
4. _____がある！それは祈りの声、賛美の声、感謝の声、礼拝の声。

2. _____、_____、そして_____論からの突破・解放

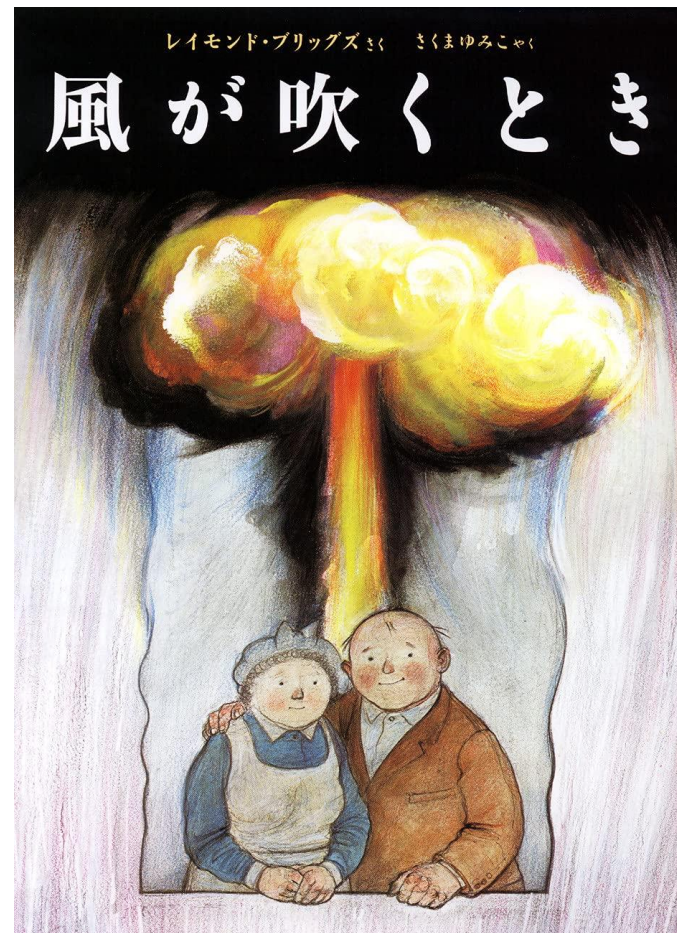
3. _____にも突破(breakthrough)が用意されている！

佐藤優氏のエッセイ「自己責任という言葉に踊らされる現代人の哀れ」
(東洋経済online)をご覧ください方は、右のQRコードより



瀬戸カルバリーチャペル × Seto LIFE ART Studio

489-0909 愛知県瀬戸市みずの坂 5-64 0561-48-8899
主任牧師:大川従道 担当牧師:倉知契 kei.kurachi@gmail.com
日曜礼拝 朝 11 時//木曜祈禱会 朝10時半//ジョイキッズ 日曜朝9時45分
※本日のチャペルも左の QR コードからご覧いただけます。夜7時頃に配信予定



歴史を語り継ぐために…私はこの本を小学生の時に図書室で読みました。

「さむがりやのサンタ」で有名なレイモンド・ブリックスが核兵器の恐ろしさを描いた絵本。「長崎を最後の被爆地に…」敗戦から80年を迎える私たちの生き方が問われています。

2025. 8.17 (Sun)

主日礼拝